

学校評価結果

平成29年2学期に、本校教員による学校自己評価アンケートを実施しました。また、その結果をもとに、本校の学校関係者にご協力をいただき、関係者評価を実施しました。結果を簡単にまとめて報告します。

本文、表中に記載されている数値は質問項目に対する回答の平均値であり、本校教員の考えの概ねの傾向を示しています。質問項目ごとに「あてはまる度合い」について1〜5ポイントで評定をつけ、項目間で比較できるようにしています。なお、今回は過去の評価活動において見直しや再検討の余地があると意見があったトピックを取り上げ、自由記述においては具体的な批判点あるいは改善点を求めており、やや厳しい評価となっております。

1. 自己評価

○定例開催される行事・イベントなどの現状について(表1)
本校で行われる「行事・イベント」について評価、意見を募りました。「適切な状況にある」という項目には肯定的な評定となっております。一方で「行事・イベントを増やすべき」という項目はかなり低い評定になっていきます。

「課外活動は、学校教育の場では必要」「生徒がイベントに熱心に取り組むようになり、行事の完成度はとても高いが、一方で熱心すぎ、時間や労力をイベントに吸い取られている生徒がいる」「各イベントに主体的に参加する者が減ってきている」「文化祭は保護者に頼っている部分が多く、生徒に戻してもよい」「スポーツ大会は廃止して、別の形にすべき」「2学期は毎週行事があるかのような印象であった」「生徒の自由な時間が減っているように感じる。」など、多様な意見が出ました。

行事・イベントの質は高く保たれ、意義深いものとなっている半面、生徒の負担や多忙につながっている様子がわかります。また、行事によっては、生徒の積極性が低減しているものもあるようです。

行事・イベントについて、個別に、全体として、見直して

よい時期かもしれません。

○担任持ち上がり制について(表2)

本校の根幹ともいえるべき、「担任持ち上がり制を保持すべき」評価、意見を募りました。「担任持ち上がり制を保持すべき」「現在、担任持ち上がり制のメリットを活かしている」の両項目で、かなり高い評定を得ました。

このトピックについては、メリットについては相当程度、教員間に共有されていると判断し、デメリットや改善点についてのみ自由記述でたずねました。

「教科に対する得意/苦手意識が固定化されやすい」「生徒、保護者と教員の相性の問題」などの指摘がありました。一方で、肯定的な評定からもわかるように、「デメリットより、メリットが上回る」「維持するメリットの方が大きい」「問題点があってもクリアして存続の方向で考えるべき」など、

から、肯定的な評定となっております。
ただし、少数ながら「能力をはかる試験として精度が高い」「難しすぎる」「メリット、デメリットを議論する時期」「高校入試に社会を入れるべき」「入学後なんとなく社会科を軽視するような雰囲気があるが、入試科目にないのが原因だ」などの意見が出ました。

入学試験は、本校の教育内容とともに、常に検討が必要な事柄なのかもしれません。従来通りの方法の踏襲にとどまらず、必要に応じて対応したいところです(本年の高校入試では、英語のリスニング試験が実施されました)。

2. 関係者評価

上記の自己評価に対して関係者評価を行い、様々な意見をいただきました。各テーマごとに「評価項目の構成は妥当である」「各項目の点数は妥当である」の2点について評価をいただきました。すべて評定4を超える高い評価をいただきました。自由記述では、行事・イベントについては「多種多様な意見がある中、行事、イベントの現状について肯定的な評価が多く見られるので問題ないと思う」「先生方の記述の中に『スポーツ大会』の改善に関するものが多いように思う」。担任持ち上がり制については「相性が悪かった時は：との記述が見られるが、担任団と生徒の関係を縮小版と考えると、その経験の中で、対人関係のスキルを身に付けていると考えたらどうか?」「プラス、マイナスを理解した上で、寛容の精神で乗り越えて成果を出さずしかない」。入試については、

「他の質問事項に比べて、改善すべきと考えている教員の割合が高いことがわかれた」「幅広い能力を持った子供を集めるために入試に工夫が必要と感じている先生方が増えてきたようだ」などの意見、感想をいただきました。最後に本校の評価活動については「評価を調査し、学校経営の助けとすることは素晴らしい」「否定的意見を含めた意見を出せる評価活動で良い」という声をいただきました。

今後も、自己評価、関係者評価を、本校の取り組みを見直す良い機会としていきたいと考えております。

表1. 定例開催される行事・イベントなどの現状について

現在、実施される行事・イベントについては、適切な状況にある。	3.7
行事・イベントを増やすべきである。	1.6

表2. 担任持ち上がり制について

担任持ち上がり制を保持すべきである。	4.5
現在、担任持ち上がり制のメリットを活かしている。	4.3

表3. 中学入試、高校入試について

本校の中学入試、そしてその結果は適切な状況にある。	3.7
本校の高校入試、そしてその結果は適切な状況にある。	3.3